

<2009—2010年度>

第4回

キャビネット会議

委員会委員長報告書

2010年6月14日（月）

東京プリンスホテル2階「鳳凰の間」

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区

330-A地区長期計画委員会報告書

330-A地区長期計画委員会

① キャビネット運営について、将来的な問題予想(事務局・地区分割等)についての答申

過去の問題を検証すると、問題は事柄そのものよりも事前の説明不足が一番の原因ではないだろうか。つまり、多くのメンバーが了解しないまま事が進んでしまっており、それは各クラブでの役職者からの十分な伝達が行われていないこと、役職者自体の理解不足によるもの、あるいは各クラブでの十分な審議・討議が行われていないことが原因と推察される。

● キャビネット事務局の問題

ガバナー毎でスタッフが変わるのは問題であって、固定化を目指すべきである。

ライオンズクラブ事務に精通した事務局長の育成を当面の目標とすべきである。

● 地区分割の問題

地区分割については最近の問題ではなく、ここ数年の議論となっているが、キャビネット・各クラブ会長・幹事が毎年変わるなか、十分な議論が継続されていない。そのため本質的な議論となりえていない。どちらがよいかの選択ではなく、どうしてそうなのか、将来どうあるべきなのか、ライオンズクラブそのものの組織論を中心とした明確な議論を展開すべきである。

● キャビネット運営の将来的問題

キャビネット運営を考えるときに、上記の「ガバナー、キャビネットとしてのアカウントビリティ」は重要であるが、その責任をはたすためにはリジョンとゾーンの運営をより強化すべきである。キャビネット、リジョンチェアパーソン、ゾーンチェアパーソンともにより明確な問題意識と目標を策定しなければならない。具体的には、「現行のままでは各クラブ、各メンバーには伝わらない」という危機感、前提に立って、リジョン・ゾーンから各クラブへ、各クラブから各メンバーへ問題やビジョンが確実に伝達されるように、組織を改革すべきである。

● 地区ガバナーの選挙における問題

ここ数年のガバナー選挙の誹謗中傷合戦には目に余るものがある。これを未然に防ぐ有効な方法は簡単に見つからず、またその責任と原因を追及しても何の意味もない。しかしながら、この問題がライオンズクラブに与えている影響は実は非常に大きく、メンバーの減少や士気の低下に直接つながっているとんでもない。この過去の事実を直視し、深い反省にたつて、各メンバーへ「公正・中立・誠実・ライオニズムなるものは何か」をキャビネットが常に発信すべきである。

② 委員会仕分け継続(委員会数・委員数)事務局運営全般についての方向・答申

各委員会が十分な諮問・討議の場となっているか、マンネリ化していないか、有名無実なものとなっていないかを検証すべきである。

単年度のなかでの改革は時間的に難しいものと推察するが、「委員会仕分け委員会」「事前合同委員会」などの事前の委員会を次期キャビネット内に作り、事前の協議をすべきである。その議論のなかで委員会数・委員数もおのずと決定されるものではないか。

昨今の喫緊の問題(メンバー減少や若年層のライオンズ離れなどの問題)にスピード感をもった対応をするには、「前年通り」という習慣は改めるべきである。

また、メンバー減少で苦しむ各クラブは実際には委員会どころではない。そのようなクラブの対策を急ぐべきである。リジョン単位とゾーン単位での活動を通して、単一クラブに対してキャビネットは今まで以上に関心を注ぎ、各クラブをより尊重し、性急な合併論ではなく、また古参も新人もなく、各クラブのライオンズクラブとしての誇りあるビジョンの策定を急がせるべきである。

③ 前期複合地区年次大会の懸念・検証、準地区としての方向・答申

以上

第 4 回 キャビネット会議委員長報告書

広報委員会

委員長 L 近藤正彦

1. 委員会諮問事項への取り組み状況

(PR 会報部門)

- ① 330-A 地区共通 LC 広報・会員入会パンフレット作成
・・・現在、アクティビティ写真を選定し作成中です。
- ② ライオン・ニュース年 3 回発行 (対外 PR・特集企画)
・・・第 1 号より 4 号まで発行を完了し、さらにエクスプレス (特別号) を 2 回発行しました。
- ③ 送付方法の検討 (ライオン誌に同封依頼)
・・・今期の当初よりライオン誌と協議のうえ、ライオン誌日本語版と同封発送をしています。

(IT 情報部門)

- ① クラブ活性情報の取材収集・公開 (アクティビティ・特別例会等)
・・・地区 HP に随時掲載しています。
- ② ゲスト・講師情報収集・活用提案・ホームページ掲載
・・・格別の実績はありません。
- ③ 地区ホームページの企画更新・サバンナ運用セミナー開催
・・・地区 HP の内容・各項目についてはほぼ毎日更新。 IT セミナーは計 4 回開催しました。

2. その他の活動について

- ① 2009 年 10 月 3 日のライオンズ奉仕の日においては、広報委員がガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーと同行し、各クラブのアクティビティを巡回取材しました
- ② 取材要請のあったクラブアクティビティあるいは地区委員会主催のイベントを毎回取材しました。
- ③ 地区ニュースのほか、広報委員会発行のメールニュースを毎月一回各クラブおよび地区役員に発信し、地区 HP の更新項目および地区のイベント、各クラブの行事など情報を伝達しました。
- ④ 地区ニュースの毎号の発行のために各号につき 5～6 回の編集会議を開き、その他に定例の委員会を毎月 1 回開催し議題の検討、協議をしました。
- ⑤ 本年 3 月の eMMR ServannA システムのスタートに伴いセミナー開催、質問対応をしました。

第4回キャビネット会議委員長報告書

委員会名 環境委員会

委員長名 L, 風間 昭

報告事項

- ① 330複合緊急援助委員会 10'2月8日 PM3:00～ 複合事務局会議室
- ② 第10回 委員会 10'2月15日 PM2:00～4:00 キャビネット事務局会議室
- (イ) 第6回 環境リーダー養成講座 10'3月23日
- (A) 名簿, 式次第, 役割分担, 会場, 受付, 領収証, 修了証書, 等
- (ロ) 東京消防庁「第8回 救命技能講習」
- (A) 名簿, 役割分担, 領収証,
- (ハ) 環境アクティビティ手引き書作成各案について
- (二) 国連大学 緊急時対応「人材育成」プログラム手引書について
- ③ 正副委員長会 10'2月15日 新宿AP館
- ④ 330複合環境保全・社会福祉委員会 10'2月19日 PM2:00～4:00 複合事務局会議室
- ⑤ 臨時環境委員会 10'3月5日 PM1:00～3:00 「ルノアール」
- (イ) 環境アクティビティ手引き書作成各案最終検討
- (ロ) 第6回環境リーダー養成講座 状況確認 106名
- (ハ) 東京消防庁「第8回 上級救命技能講習」 状況確認 新規 50名, 更新12名
- ⑥ 第11回 委員会 10'3月17日 PM4:00～5:30 キャビネット事務局会議室
- (イ) 第6回環境リーダー養成講座 準備及び手配等最終確認 138名
- (ロ) 東京消防庁「第8回 上級救命技能講習会」準備手配等最終確認 新規50名, 更新17名
- (ハ) 国連大学 緊急時対応「人材育成プログラム手引書」について
- (A) 人事異動等で連絡不可なので一時中断
- (二) 東京センチュリーLC 川上村 ライオンズの森 視察、植樹祭参加 2日間の予定
- ⑦ 「第8回上級救命士講習会」 10'3月22日AM8:45～PM5:00麴町消防署 新規開催 48名
- ⑧ 第6回環境リーダー養成講座 10'3月23日 PM1:30～3:30
- 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室 137名
- ⑨ 運営委員会「報告」 PM4:00～ キャビネット事務局会議室
- ⑩ 第12回委員会 10'4月15日 東京プリンスホテル「雲井」PM 4:00 ～ 5:30
- (イ) 第6回環境リーダー養成講座 収支報告(中間)
- (ロ) 東京消防庁「第8回 上級救命技能講習会」実施報告
- (ハ) 次期環境リーダーステップアップセミナー 開催について
- (二) 次期委員会について

第4回キャビネット会議委員長報告書

委員会名 国際委員会
委員長名 L. 渡邊 晃

報告事項

第22回2010年3月29日～第26回2010年5月14日 5回の委員会活動を行いました。

主要な活動内容は、来る6/28～7/2開催のオーストラリア、シドニー国際大会に向けての準備等です。

具体的には

1. 特に今回、代議員資格証明手順等が従来とは異なる手順となったので、各LC会長・幹事宛文書の送付及び地区ホームページへの手続き等の登載を行い、その周知徹底に努めてまいりました。また、問合せ窓口（国際委員会、キャビネット事務局）を設置して、単独の個人大会参加者への個別対応にも努めてまいりました。
2. 大会登録手続きについても、公式の正規ツアーコーディネイター（内外航空サービス株式会社）経由で登録か、あるいは、直接キャビネット事務局での登録となり、今回、従来の登録方法とは異なりました。その為、特に、正規ツアーコーディネイターでの申込以外の大会参加者については、正規旅行代理店以外の代理店では、大会参加登録の代行ができないため、留意事項の周知徹底にも努めてまいりました。
3. 主な日程についての運営の準備
 - 1) インターナショナル・パレード … パレードの隊列、当日の指揮系統の調整等 (180名参加予定)
 - 2) 代議員夕食会（ジャパンレセプション） … 各種手配 (180名参加予定)
 - 3) 初日総会(開会式) … 場所取り等の各種手配 (192名参加予定)
 - 4) ガバナー & ガバナーエレクトを囲む会 … 会場、料理、配席、運営等の各種手配30名参加予定)
 - 5) 第二回山浦晟暉国際理事候補者ゴルフコンペ … ゴルフ場選定等各種手配 (60名参加予定)
 - 6) 代議員投票 … 各種確認・手配 (93名投票予定)
 - 7) 最終日総会(閉会式) … 各種手配 (154名参加予定)

なお、OSEALパタヤ大会と同様、シドニー大会に関する委員会会議には、必ず、公式の正規ツアーコーディネイター（内外航空サービス株式会社）担当者のリアルタイムでの各種情報の説明報告を受けおります。

以上が、これまでの活動の概要であります。なお、複合の委員のLには、過去あまり例が御座いませんが、ほぼ毎回会議にご出席戴いて、貴重なご助言を戴いております。

また、各種名簿の作成処理など、煩雑なデータ処理、集金の確認等、キャビネット事務局の皆さんにも、ご協力を戴いておりますことを、感謝するとともにご報告申し上げます。

おって、こうした絶大なる関係各位のご理解、ご協力により、過去最大の大会参加率を得たことは、誠に悦ばしいことであり、参加意思を表明されました各メンバーの方々には、重ねて御礼を申し上げます。

シドニー国際大会の成功に向けて、更なるご協力、ご理解をよろしくお願い申し上げます。

(追記) 今後の委員会スケジュール

第27回	2010年5月28日(金)	15:00～	キャビネット事務局 会議室
第28回	2010年6月4日(金)	15:00～	キャビネット事務局 会議室
第29回	2010年6月11日(金)	15:00～	ルノアール新宿小滝橋通り店
第30回	2010年6月18日(金)	15:00～	キャビネット事務局 会議室
第31回	2010年6月22日(火)	15:00～	キャビネット事務局 会議室
第32回(予備)	2010年6月23日(水)	15:00～	キャビネット事務局 会議室

以上

第4回 キャビネット会議委員長報告

委員会名 青少年育成委員会
薬物乱用防止 担当

委員長名 L 瀧澤 賢 司

報告事項

2009年～2010年度 薬物乱用防止担当は諮問概要をもとに、講師養成・広報活動(クエスト連携・パンフレット企画等)、組織・運用・実態検証(沿革・現状活動把握・各レベル対応検証等)の活動を行なった。

2009年7月～2010年6月 薬物乱用防止担当の活動報告

2009年8月、MDMAと覚せい剤の現行犯で芸能人3人が逮捕された事件は、日本中に衝撃が走り社会全体に影響を及ぼす大きな事件であった。一昨年の相撲界の大麻事件とも重なり、地域の学校や団体関係者から、子供達に「薬物乱用防止教室」の必要性が高まり、各クラブはじめ委員会は対応に迫られた年であった。

2009年7月～2010年6月 薬物乱用防止担当の主な活動内容

- ① 9月04日 第1回「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会」総会
- ② 9月30日 第1回「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会」役員会
- ③ 10月03日 「ライオンズ奉仕デー」薬物乱用防止啓発活動 実施場所訪問
- ④ 11月02日 「薬物乱用防止教育講師認定養成講座」(於：東京ビッグサイド)
- ⑤ 11月26日 第2回「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会」役員会
- ⑥ 11月28日 東京都主催「平成21年度麻薬・覚せい剤乱用防止運動都民大会」
- ⑦ 12月09日 初鹿明博議員(東京江戸川東LC所属)、早川久美子議員(葛飾区、江戸川地区選出)、両議員に薬物乱用防止活動の現状報告
- ⑧ 12月10日 福島みずほ内閣府特命担当大臣にライオンズクラブの小・中・高等学校で実施している薬物乱用防止教室活動について説明
- ⑨ 01月20日 警察庁からライオンズクラブに「薬物乱用防止教室」の講師派遣依頼について相談を受けた。
- ⑩ 01月29日 第3回「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会」役員会
- ⑪ 03月15日 「330-A地区第3回キャビネット会議」で提出案、4項目を説明
- ⑫ 03月30日 第9回複合地区ガバナー協議会議長連絡会に警察庁から「薬物乱用防止教議会教育認定講師」派遣協力依頼があった。
- ⑬ 04月24日 330-A地区第56回年次大会 青少年関係分科会(地区ガバナー提案)
- ⑭ 05月27日 第4回「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会」役員会
- ⑮ 06月14日 「330-A地区第4回キャビネット会議」

薬物乱用防止担当 業務内容

1. 330-A 地区薬物乱用防止教育講師認定養成講座の実施計画
2. (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターと共催で認定証を発行
3. 4 省庁と連携し講師派遣依頼
4. 東京都福祉保健局に「薬物乱用防止教室」の実施報告
5. 各クラブから薬物乱用防止教室開催方法について相談
6. 各クラブから薬物乱用防止教室開催による講師派遣依頼
7. 薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会 役員会(年間 4 回)

330-A 地区第 56 回年次大会 青少年関係分科会

地区ガバナー提案

- | | |
|--------------------------------|----|
| 1. 薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会設置 | 承認 |
| 2. 薬物乱用防止啓発支援のための協賛金拠出依頼 | 承認 |
| 3. 薬物乱用防止委員会委員一部留任 | 承認 |
| 4. 薬物乱用防止啓発活動のキャビネット事務局の受付窓口設置 | 承認 |

1997 年から始まった 330-A 地区薬物乱用防止教育認定養成講座は、
今期で 13 回目を向かえました。

2010 年 5 月現在、330-A 地区薬物乱用防止教育認定講師と薬物乱用
防止教育ゴールド認定講師の有効期限別、登録数

330-A 地区薬物乱用防止教育認定講師 登録数

有効期限	2010 年 06 月 30 日	181 名
有効期限	2012 年 06 月 30 日	271 名
有効期限	2013 年 06 月 30 日	120 名

合計 572 名

330-A 地区薬物乱用防止教育ゴールド認定講師 登録数

有効期限	2014 年 06 月 30 日	52 名
有効期限	2015 年 06 月 30 日	20 名

合計 72 名

- 薬物乱用防止教育ゴールド認定講師とは、前期に新設された年間 3 回以上
講師として活躍されたスキルの高い認定講師の功績を称え、一層のスキル
アップと活性化を図るために新設された。

第4回キャビネット会議委員長報告書

委員会名 青少年育成委員会

委員長名 瀧澤 賢司

報告事項（YE関連）

第3回キャビネット会議(2010年3月15日)以降の活動概要は以下の通りであります。

1. 春期 YE タイ来日生 4名 (3月26日～4月14日)

1. 春期 YE タイ派遣生 1名 (3月23日～4月3日)

1. 第6回「青少年英語スピーチコンテスト」6月20日開催

1. 夏期 YE 来日生 7名 (7月初旬～8月中旬)

1. 夏期 YE 派遣生 11名 (7月下旬～8月下旬)

1. 夏期 YE 派遣生帰国報告会 (9月)

福祉委員会委員長報告書

委員長 戸田一郎

① 障害者・老人福祉担当委員会 担当副委員長 小堀光由

障害者福祉については以下の事について委員会活動を行った。

「東京都障害者スポーツ大会」支援

東京都障害者スポーツ大会は第56回年次大会の記念事業であり区内200クラブに対し参加を呼び掛け会場に多数メンバーの参加を得た。

東京都と公益法人東京都障害者スポーツ協会主催の上記大会に330-A地区は特別協賛団体として参画しており、下記日程にて2日に亘り実施された。

開催場所 駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場

第1日 2010年5月29日(土)

第2日 2010年5月30日(日)

② 献血・骨髄移植推進担当委員会 担当副委員長 佐々木利和

2009年10月3日～4日に札幌市で行われた全国ライオンズクラブ献血推進会議に委員長と担当副委員長がセミナーに参加し、血液分漿センターを見学した。

2010年1月～2月に銀座「博品館」に於いて上演された劇団「会生」(えき)による骨髄移植をテーマとする「友情」の観劇を地区に呼びかけた。

2010年3月12日に江東区辰巳の「東京都血液センター」で開催された複合地区献血・骨髄移植委員会主催の「骨髄移植推進セミナー」に委員会全員が参加した。

③ 献眼・献腎・癌撲滅担当委員会 担当副委員長 山口勝一

癌撲滅運動については7R1Zガバナー公式訪問合同例会場に財団法人癌の子供を守る会のソーシャルワーカー斎藤秀子さんを招請し小児癌の医療現場についての講演を頂いた。

献眼活動については角膜移植の現況について移植により視覚を回復した患者に加え同時に角膜を提供した方の家族の声に接する等一步踏み込んだ機会をアイバンク協会や角膜センターと共に創り来場者に献眼の意義の重要さと角膜提供の実行の啓蒙を行った。

また、登録だけの献眼奉仕に終わらず家族に自己の献眼意思の表明を確実に残す事が献眼実行の決意をする家族の意思決定に重要な要素となる等の委員会での決議報告を年次大会の分科会に於いて発表した。

第 4 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 組織連携特別委員会

委員長名 L 家喜 凱雄

報告事項

当委員会は 今期 11 回委員会をキャビネット会議室で開催し、最終委員会は移動委員会で、合計 12 回開催いたしました。諮問事項は

1) 地区支援会預託金返還監視・人的物的連携に関する規定検討

前期 6 月 19 日 42,402,222 円一般社団法人 330-A 地区支援会へ預託金

個人預託金返還 2009 年 9 月 24 日まで 776 名 41,640,000 円

未返還預託金残高 762,222 円 (2,222 円後日調整返済されました。)

一般社団法人 330-A 地区支援会代表理事は野崎武氏が再任 (H21/10/29)

2) 愛の泉緊急災害基金運用監視

2010 年 2 月 2 日ハイチ大地震義援金 330MD より 100 万円要請あり

岡野ガバナーより諮問、委員会で検討し、運用規程に照らし提出提案。

3) ライオンズカード検討

カード推進 広報委員会の協力で 330A 地区 the Lions News 2009 秋号に委員会広報。ライオン誌日本語版 LION 2 月号に A4 サイズ募集広報を同封 A 地区全会員配布。同広報紙使用で FAX 申し込み受け付け中。

分配検証 第 4 回キャビネット会議当日ゾーン・チェアパーソンを通じて各クラブへ分配予定。

改善検討 第 56 回年次大会組織連携分科会シンポジウム「ライオンズカード活用について」メリットが多くあることを、もっと PR してほしい、又例会費等の決済を推進の提案あり参考とする